

項目コード	検査項目	検体量(mL)	容器	保存(安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
1035	総コレステロール(T-Cho) 3F050-0000-023-271	血清0.3	1	冷蔵	1~2	17 ^① 生I	酵素法	mg/dL 150~219		高脂血症 LPL欠損症 ネフローゼ症候群 動脈硬化性疾患
1036	遊離コレステロール(F-Cho) 3F065-0000-023-271	血清0.5	1	冷蔵	2~3	11生I	酵素法	mg/dL 25~60	※01	糖尿病 甲状腺機能低下症 ネフローゼ症候群 肝硬変
1040	HDLコレステロール 3F070-0000-023-271	血清0.3	1	冷蔵	1~2	17 ^① 生I	酵素法(直接法)	mg/dL M: 40~85 F: 40~98		高脂血症 閉塞性肺疾患 原発性胆汁性肝硬変
1037	中性脂肪(TG) 3F015-0000-023-271	血清0.2	1	冷蔵	1~2	11生I	酵素法(グリセロール消法)	mg/dL 50~149		高脂血症 LPL欠損症 HTGL欠損症 糖尿病
4893	non-HDL-C 3F069-0000-023-919				1~2		計算法		計算式: nonHDL-C = (総コレステロール) - (HDLコレステロール) 総コレステロールとHDLコレステロールの2項目と同時依頼の場合にのみ結果報告いたします。 TGが400mg/dL以上の場合に用いられます。	動脈硬化
3271	リン脂質(PL) 3F025-0000-023-271	血清0.5	1	冷蔵(1ヶ月)	1~3	15生I	酵素法	mg/dL 150~250	※01	甲状腺機能低下症 閉塞性黄疸 肝炎 ネフローゼ症候群 高脂血症 肝硬変
3267	コレステロール分画 3F150-0000-023-233	血清0.3	1	冷蔵	3~5	57生I	アガロース膜電気泳動法	48ページ参照	凍結不可 ※01	高脂血症 動脈硬化症 家族性高HDL血症 脳梗塞
3266	リポ蛋白分画(LPF) 3F135-0000-023-233	血清0.3	1	冷蔵	3~5	49生I	アガロース膜電気泳動法	48ページ参照	空腹時に採血し分離後上清を冷蔵し提出してください。 凍結不可。 ※01	高脂血症 糖尿病 ネフローゼ症候群 甲状腺機能低下症
3556	リポ蛋白分画/HPLC法 3F140-0000-023-204	血清0.5	1	冷蔵	3~6	129生I	HPLC法	48ページ参照	凍結不可 ※01	脂質異常症 高コレステロール血症 高脂血症
3557	sd LDL-C 3F088-0000-023-271	血清0.5	1	冷蔵	3~4		酵素法	mg/dL	※01	動脈硬化
3297	A-I 3F180-0000-023-061	一種につき血清0.3(血清0.5で6項目同時測定可)	1	冷蔵(2週)	2~4	1項目31 2項目62 3項目以上94 ^② 生I	免疫比濁法(TIA法)	mg/dL M: 119~155 F: 126~165	※01	A I・A II: 低HDL血症 B: 高コレステロール血症 C I・C II・E: 高TG血症
3298	A-II 3F185-0000-023-061		1	冷蔵(2週)	2~4			mg/dL M: 25.9~35.7 F: 24.6~33.3	※01	
3299	B 3F190-0000-023-061		1	冷蔵(2週)	2~4			mg/dL M: 73~109 F: 66~101	※01	
3300	C-II 3F195-0000-023-061		1	冷蔵(2週)	2~4			mg/dL M: 1.8~4.6 F: 1.5~3.8	※01	
3301	C-III 3F200-0000-023-061		1	冷蔵(2週)	2~4			mg/dL M: 5.8~10.0 F: 5.4~9.0	※01	
3302	E 3F205-0000-023-061		1	冷蔵(2週)	2~4			mg/dL M: 2.7~4.3 F: 2.8~4.6	※01	

①HDL-コレステロール、総コレステロール及びLDL-コレステロールを併せて測定した場合は、主たるものの2つの所定点数を算定する。
②アポリポ蛋白は、A I、A II、B、C II、C III及びEのうち、測定した項目数に応じて、所定点数を算定する。(1項目：31点、2項目：62点、3項目以上：94点)
★LDL計算法＝総コレステロール－HDLコレステロール－（中性脂肪/5）ただし中性脂肪が、400mg/dL以上の場合は計算不可。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
0155	レムナント様リポ蛋白コレステロール (RLPコレステロール) 3F078-0000-023-271	血清0.4	1	冷蔵	2~3	179 ^① 生 I	酵素法	mg/dL 7.5以下	糖尿病、冠動脈疾患などの既往歴のある場合は、5.2mg/dL以上がハイリスクといわれています。 ※06	動脈硬化性疾患 高脂血症 甲状腺機能低下症 糖尿病
1298	リポ蛋白 (a) (LP (a)) 3F156-0000-023-061	血清0.5	1	冷蔵	3~4	107 ^② 生 I	免疫比濁法 (TIA法)	mg/dL 40.0以下	※01	動脈硬化性疾患 家族性高コレステロール血症 糖尿病 腎透析患者 急性肝炎 肝硬変
5440	HDL2,3 コレステロール 3F075-0000-023-221	血清1.0	1	冷蔵 (20日)	3~7		超遠心法	mg/dL HDL2コレステロール M 16.0~61.0 F 23.0~73.0 HDL3コレステロール M 13.0~25.0 F 13.0~24.0	凍結保存は避けてください。 ※02	HDL ₂ ・HDL ₃ 増加： CETP欠損症 肝性 HTGL活性低下 HDL ₂ 低下：LPL活性 低下 動脈硬化性疾患 急性肝炎 HDL ₃ 低下：肝硬変 急性肝炎 閉塞性黄疸
5536	LDLコレステロール 3F077-0000-023-271	血清0.3	1	冷蔵	1~2	18 ^③ 生 I	酵素法 (直接法)	mg/dL 70~139		ネフローゼ症候群 高脂血症 糖尿病 肥満 閉塞性黄疸 肝硬変 慢性肝炎
4877	MDA-LDL (酸化LDL) 3F087-0000-023-023	血清0.3	1	(分離後) 凍結 (21日)	4~15	194 ^④ 生 I	ELISA法	下記欄参照	採血後6時間以内の血清分離を必要とする為、午前11時以降の採血をお願いいたします。 ※02	糖尿病合併の虚血性心疾患 陈旧性心筋梗塞 急性心筋梗塞 経皮的冠動脈形成術前後 急性冠症候群
3272	胆汁酸 (TBA) 3F110-0000-023-271	血清0.5	1	冷蔵 (1週)	1~3	47 ^⑤ 生 I	酵素法	μmol/L 14.4以下 (食後4時間以上経過)	※01	急性肝炎 慢性肝疾患 胆汁うっ滞
3341	脂肪酸分画 (4成分) 3F095-0000-023-202 3F095-0000-022-202	血清0.5 血漿0.5	1 19	冷蔵 (45日) 冷蔵 (45日)	5~7	405 生 II	Gas-chromatograph法	μg/mL DHLA:22.6~72.5 AA:135.7~335.3 EPA:10.2~142.3 DHA:54.8~240.3 EPA/AA比0.05~0.61 DHA/AA比0.27~1.07 (EPA+DHA)/AA比0.32~1.66		動脈硬化性疾患 (AA) 家族性LCAT欠損症 (EPA, DHA) 動脈硬化性疾患 (EPA, DHA)
1113	脂肪酸分画 (24成分) 3F095-0000-023-202 3F095-0000-022-202	血清0.5 血漿0.5	1 19	冷蔵 (45日) 冷蔵 (45日)	11~15		Gas-chromatograph法	次ページ参照	※02	血栓症 必須脂肪酸欠乏

①レムナント様リポ蛋白コレステロール (RLP-C) は免疫吸着法-酵素法又は酵素法により実施し、3月に1回を限度として算定できる。

②リポ蛋白 (a) は、3月に1回を限度として算定できる。

③HDL-コレステロール、総コレステロール及びLDL-コレステロールを併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。

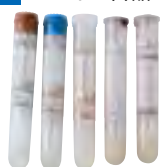
④マロンジアルデヒド修飾LDL (MDA-LDL) は、冠動脈疾患既往歴のある糖尿病患者で、冠動脈疾患発症に関する予後予測の補助の目的で測定する場合に3月に1回に限り算定できる。ただし、糖尿病患者の経皮的冠動脈形成術治療時に、治療後の再狭窄に関する予後予測の目的で測定する場合、上記と別に術前1回に限り算定できる。

⑤尿中硫酸抱合型胆汁酸と胆汁酸を同時に測定した場合には、いずれか一方の所定点数のみを算定する。

[4877] MDA-LDL (単位: U/L)

45才未満: 男性 55才未満: 女性	46~82
45才以上: 男性 55才以上: 女性	61~105

1 プレイン容器



19 ヘパリン



【3267】 コレステロール分画（基準値）（％）

HDL-ch	M：17～43 F：22～51
VLDL-ch	M： 2～18 F： 1～14
LDL-ch	M：51～77 F：45～72

【3266】 リポ蛋白分画アガロース法(基準値)(%)

α	M：27～51 F：33～53
pre β	M： 8～24 F： 7～21
β	M：35～56 F：34～52

* リポ蛋白分画/アガロース法分画名について
(アガロース法における
 α はHDL、pre β はVLDL、
 β はLDLに概ね一致します。)

【3556】 リポ蛋白分画HPLC法（基準値）

	分画（単位：％）	定量値 （単位：mg/dL）
HDL	23.6～49.8	40.6～91.4
LDL	42.2～63.8	67.8～132.6
IDL	2.2～6.1	3.8～12.5
VLDL	2.6～13.9	4.9～22.8
Other	0.8～4.4	1.5～9.1
総コレステロール		150～219

【1113】 全脂質中脂肪酸分画の参考基準値

No.	脂肪酸名	略号（炭素数）	$\mu\text{g/mL}$	重量％
1	ラウリン酸	C12:0	10.2以下	0.31以下
2	ミリスチン酸	C14:0	10.8～61.1	0.36～1.43
3	ミリストレイン酸	C14:1 ω 5	3.2以下	0.09以下
4	パルミチン酸	C16:0	495.1～918.3	19.18～23.84
5	パルミトレイン酸	C16:1 ω 7	23.8～117.3	0.87～3.18
6	ステアリン酸	C18:0	167.6～312.7	6.13～8.49
7	オレイン酸	C18:1 ω 9	433.9～910.1	16.19～23.66
8	リノール酸	C18:2 ω 6	708.1～1286.0	23.24～36.89
9	γ -リノレン酸	C18:3 ω 6	2.5～25.6	0.09～0.72
10	リノレン酸	C18:3 ω 3	11.5～45.8	0.40～1.30
11	アラキジン酸	C20:0	6.9～14.4	0.24～0.46
12	エイコセン酸	C20:1 ω 9	2.6～9.5	0.09～0.30
13	エイコサジエン酸	C20:2 ω 6	4.3～9.3	0.15～0.26
14	5-8-11エイコサトリエン酸	C20:3 ω 9	6.0以下	0.17以下
15	ジホモ- γ -リノレン酸	C20:3 ω 6	22.6～72.5	0.79～2.05
16	アラキドン酸	C20:4 ω 6	135.7～335.3	4.21～9.30
17	エイコサペンタエン酸	C20:5 ω 3	10.2～142.3	0.36～3.99
18	ベヘニン酸	C22:0	14.6～30.3	0.43～0.91
19	エルシン酸	C22:1 ω 9	1.4以下	0.04以下
20	ドコサテトラエン酸	C22:4 ω 6	2.9～10.4	0.10～0.30
21	ドコサペンタエン酸	C22:5 ω 3	9.5～31.8	0.34～0.89
22	リグノセリン酸	C24:0	15.5～31.2	0.49～0.90
23	ドコサヘキサエン酸	C22:6 ω 3	54.8～240.3	1.88～6.86
24	ネルボン酸	C24:1 ω 9	27.1～53.0	0.78～1.64
T/T比（C20:3 ω 9/C20:4 ω 6）			0.02以下	
EPA/AA比（C20:5 ω 3/C20:4 ω 6）			0.05～0.61	
DHA/AA比 C22:6 ω 3/C20:4 ω 6）			0.27～1.07	
（EPA+DHA）/AA比			0.32～1.66	
ω 3/ ω 6比			0.09～0.36	

項目 コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	提出条件 ・備考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
1061	ナトリウム (Na) 3H010-0000-023-261 3H010-0000-004-261	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 ^① 生I	電極法	mmol/L 135~147	採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置冷却保存はナトリウムが低値を示しますので避けて下さい。	脱水 腎不全 心不全 原発性アルドステロン症 ネフローゼ症候群
0131		蓄尿5.0	2	冷蔵	1~2			g/day 4~8	一日尿量記入	食塩過剰摂取 脱水 欠乏性低Na血症 続発性アルドステロン症
1064	クロール (Cl) 3H020-0000-023-261 3H020-0000-004-261	血清0.3	1	冷蔵	1~2			mmol/L 96~110		尿細管性アシドーシス 呼吸性アルカローシス アシノン病 嘔吐
0133		蓄尿5.0	2	冷蔵	1~2			g/day 6~12	一日尿量記入	食塩過剰摂取 嘔吐 Cl反応性代謝性アルカローシス
1062	カリウム (K) 3H015-0000-023-261 3H015-0000-004-261	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 生I	電極法	mmol/L 3.6~5.0	採血後は、血液凝固を確認後、速やかに血清分離してください。血液のまま放置冷却保存又は溶血はカリウムが高値を示しますので避けて下さい。	腎不全 Addison病 Cushing症 候群 嘔吐 下痢 アシドーシス アルカローシス 原発性アルドステロン症
0132		蓄尿5.0	2	冷蔵	1~2			g/day 1.5~2.5	一日尿量記入	各種利尿剤投与時 原発性アルドステロン症 Addison病 嘔吐 下痢
1063	カルシウム (Ca) 3H030-0000-023-271 3H030-0000-004-271	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 ^② 生I	アルセナゾⅢ法	mg/dL 8.6~10.1		原発性副甲状腺機能亢進症 悪性腫瘍 ビタミンD過剰症 骨代謝異常
0134		蓄尿5.0	2	冷蔵	1~2			g/day 0.1~0.3	一日尿量記入	原発性副甲状腺機能亢進症 中甲状腺機能亢進症 ビタミンD過剰症 慢性腎不全
5392	イオン化カルシウム (Ca ²⁺) 3H035-0000-023-261	流パラ 血清0.9	下欄 参照	冷蔵	3~4	26 ^② 生I	イオン 電極法	mEq/L 2.25~2.50 (4.5~5.0mg/dL)	※01	
1066	マグネシウム (Mg) 3H025-0000-023-271 3H025-0000-004-271	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 生I	キシリジル ブルー法	mg/dL 1.9~2.5		腎障害 脱水 肝炎 ケトアシドーシス Addison病 原発性アルドステロン症
0110		蓄尿5.0	2	冷蔵	1~2			g/day 0.1~0.2	一日尿量記入	急性腎不全の利尿期 原発性アルドステロン症 副甲状腺機能低下症
1065	無機リン (IP) 3H040-0000-023-271 3H040-0000-004-271	血清0.3	1	冷蔵	1~2	17 ^③ 生I	モリブデン酸 直接法	mg/dL 2.5~4.5		腎不全 副甲状腺機能低下症 サルコイドーシス 悪性腫瘍骨転移
0181		蓄尿5.0	2	冷蔵	1~2			g/day 0.5~2.0	一日尿量記入	副甲状腺機能低下症 急性骨萎縮 ビタミンD過剰症 サルコイドーシス

①ナトリウム及びクロールについては、両方を測定した場合も、いずれか一方のみを測定した場合も、同一の所定点数により算定する。

②カルシウム及びイオン化カルシウムを同時に測定した場合には、いずれか一方についてのみ所定点数を算定する。

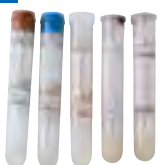
③無機リン及びリン酸については、両方を測定した場合も、いずれか一方のみを測定した場合も、同一の所定点数により算定する。

●イオン化カルシウム（容器）5mL真空採血後、ゴム栓の上から注射針を刺して流動パラフィンを1mL注入。

室内に30分放置後、血清分離。血清と流動パラフィンを10mL用チューブに移す。

（採血後流動パラフィンによる封入処理を行わないと、pHがアルカリ側に傾きイオン化カルシウム値が減少するので、流動パラフィンによる前処理を行ってください。）

1 プレイン容器



2 滅菌スピッツ



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
1067	鉄 (Fe) 3I010-0000-023-271	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 生I	パソフィナントリン 直接法	$\mu\text{g/dL}$ M: 60~180 F: 50~160		肝疾患 鉄過剰症 無効造血 溶血性貧血 真性多血症 再生不良性貧血 鉄欠乏性貧血
1069	総鉄結合能 (TIBC) (比色法) 3I015-0000-023-919	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 生I	パソフィナントリン 直接法	$\mu\text{g/dL}$ 256~368		真性多血症 鉄欠乏性貧血
1068	不飽和鉄結合能 (UIBC) (比色法) 3I020-0000-023-271	血清0.3	1	冷蔵	1~2	11 生I	パソフィナントリン 直接法	$\mu\text{g/dL}$ 130~320		真性多血症 再生不良性貧血 鉄欠乏性貧血 鉄過剰症
3273	銅 (Cu) 3I025-0000-023-271	血清0.5	1	冷蔵	1~3	23 生I	比色法 (3,5-DiBr-PAESA法)	$\mu\text{g/dL}$ 66~130	※01	肝疾患 胆道閉鎖症 Basedow病 鉄欠乏性貧血 ネフローゼ症候群 Wilson病 副腎不全
1044	アルミニウム (Al) 3K105-0000-023-274	血清0.5	108	冷蔵	6~9	112 生I	原子吸光法	$\mu\text{g/dL}$ 0.9以下	※33	腎不全 尿毒症 アルミニウム中毒
3453	亜鉛 (Zn) 3I030-0000-023-274	血清0.5 単独検体	1	冷蔵 (18日)	3~4	136 生I	原子吸光法	$\mu\text{g/dL}$ 80~130	※06	赤血球増多症 好酸球増多症 溶血性貧血 甲状腺機能亢進症 副腎不全 長期高カロリー輸液時
2511	クロム (Cr) 3K115-0000-019-274	血液0.7	19	冷蔵	7~20		原子吸光 分光光度法	$\mu\text{g/dL}$ 1.0以下	※02	クロム中毒 中心静脈栄養 (IVH高カロリー輸液) 糖尿病
2509	マンガン (Mn) 3K125-0000-019-274	血液0.7	19	冷蔵	8~21	27 生I	原子吸光 分光光度法	$\mu\text{g/dL}$ 0.8~2.5	※02	マンガン中毒 急性腎不全 腎透析患者 炎症性関節炎 肝炎 肝硬変 慢性腎不全
2507	カドミウム (Cd) 3K120-0000-019-299 3K120-0000-001-274	血液0.5	19	冷蔵	8~12		ICP-MS	$\mu\text{g/dL}$ 0.5以下	凍結保存は避けてください。 ※02	カドミウム中毒 イタイイタイ病
2508		部分尿1.0	35	冷蔵	9~15		原子吸光法	$\mu\text{g/L}$ 3.8以下		
2505	鉛 (Pb) 3K110-0000-019-274 3K110-0000-001-274	血液3.0	19	冷蔵	4~6		原子吸光 分光光度法	$\mu\text{g/dL}$	鉛健康診断の場合は、52ページをご参照ください。 ※02	鉛中毒
2506		部分尿1.0	2	冷蔵	4~17		原子吸光 分光光度法	$\mu\text{g/L}$ 25.0以下	※01	

- ①総鉄結合能 (TIBC) (比色法) と不飽和鉄結合能 (UIBC) (比色法) を同時に実施した場合は、不飽和鉄結合能 (UIBC) (比色法) 又は総鉄結合能 (TIBC) (比色法) の所定点数を算定する。
- ②マンガン (Mn) は、1月以上 (胆汁排泄能の低下している患者については2週間以上) 高カロリー静脈栄養法が行われている患者に対して、3月に1回に限り算定することができる。

1
ブレイン容器

2
滅菌スピッツ

19
ヘパリン

35
遮光用尿容器

108
アルミニウム専用容器